

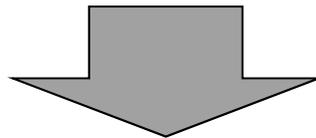
2.2 リスクマネジメントの必要性

■失敗したプロジェクトの反省会での事例

- 有識者の指摘
 - ✓「失敗のリスクは、最初からプロジェクトの内外に潜んでいた」
- プロジェクト・マネジャーの釈明
 - ✓「リスクを認識できなかった」
 - ✓「危ない感じだったのでいろいろと努力したが、うまくいかなかった」
- 結局、リスクマネジメントを正しく理解していなかった、リスクに適切に対応できていなかった

■プロジェクト・マネジャーは当たり前のことを行わなければならない！

- 計画段階
 - ✓ 失敗につながる要因(リスク要因)を洗い出し、対策を立案する
- 実行段階
 - ✓ 顕在化した問題(発生したリスク事象)に確実に対処する

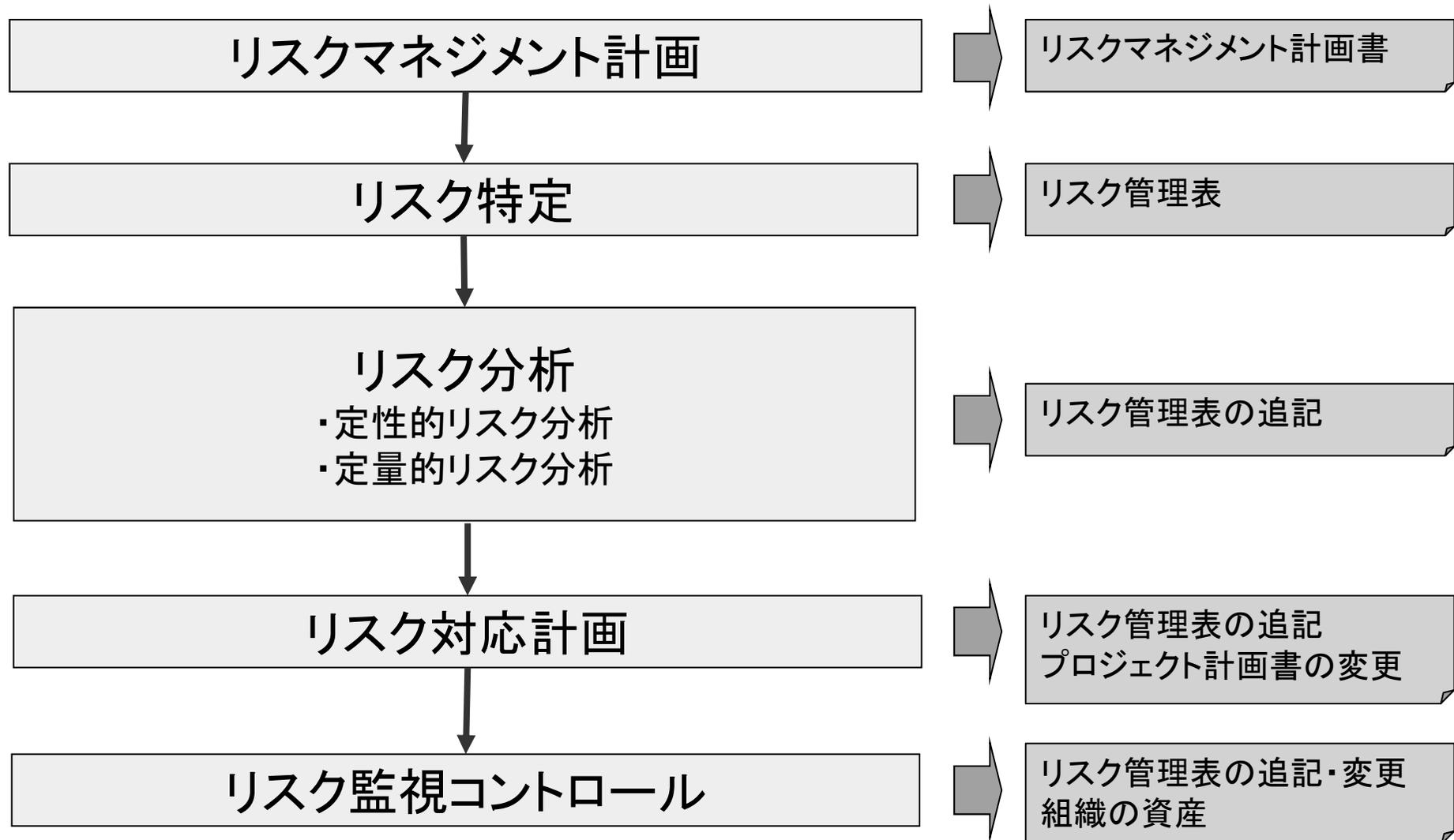


これから起きるかもしれない望ましくない出来事を冷静に予測し、
周りの人たち(上司、顧客など)を巻き込む必要がある

2.5 リスクマネジメントのプロセス

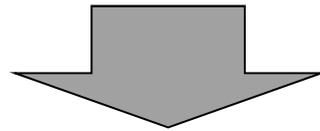
■リスクマネジメントの定義

➤ステークホルダー全体で望ましくない出来事を共有し、発生させないように取り組むこと



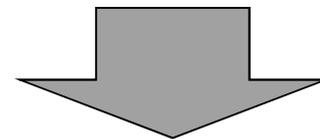
5.1 リスク分析の考え方

プロジェクトには予算や納期などの制約があり、
洗い出したリスクのすべてに予防対策はとれない



よって

ヘッジするリスク と テイクするリスク を見極める



したがって

定性的リスク分析

定量的リスク分析

によってリスクを分類する

ケース5: 責任者不在の会議

- 顧客の責任者は部長であるが、会議には部下の課長のみが参加していた
- 課長では決定できない事項が多く、頻繁に宿題を持ち帰っている

リスク事象 と 教訓は？

| | |
|-------|--|
| リスク事象 | |
| 教訓 | |

演習 4: リスク対応計画

| リスク | | 予防対策 | 発生時対策 | | リスク監視方法 |
|-----------------------|----|--------------------|---------|-------|---------|
| 要因 | 事象 | アクション | トリガポイント | アクション | |
| | | | | | |
| 未対策時の評価 | | 対策後の評価 | | | |
| 発生確率: 影響度: リスクスコア: | | 発生確率: 影響度: リスクスコア: | | | |
| 発生確率、影響度の理由: | | 発生確率、影響度の理由: | | | |